

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

# 鳥取県革新懇ニュース

No.40

2013年  
8月10日

〒680-0811 鳥取県鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)  
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

# 暴走阻止へ決意固く

## 参院選を受けて各団体は

7月22日の参議院選挙で、自公両党が過半数を確保しましたが、同時に日本共産党は比例代表選挙で5議席、東京・大阪・京都の3選挙区で議席を回復し、改選前の3議席から8議席へと大躍進しました。このことは、①国民本位の経済への転換による豊かな暮らし②憲法を生かした自由と人権・民主主義の発展③日米安保をなくし非核・非同盟・平和中立の平和を共同目標に掲げる革新懇にとって、極めて大きな意味を持ちます。

予想どおり安倍政権は衆参の「ねじれ解消」をテコに、暮らしに打撃を与える悪政を推進する構えを強めています。こうした暴走の加速が「国民の真の願い」の「ねじれ」を拡大し、矛盾を深めるのは明らかです。これに立ちはだかる防波堤の役割を果たせる政党は、「国民が主人公の新しい政治」を目指して戦い大躍進した日本共産党だけです。もちろん、三目標で一致する革新懇も、この役割の中核を担うことが求められます。

参議院選後の政治は、文

字どおり「自共対決」とならざるを得ません。そこで、革新懇の構成団体やその他の組織から、新たな政治局面でどう運動を展開するか、話を聞きました。

### ◆跳ね返そう 社会保障制度改悪

今回の参議院選挙では、民医連の元医師の小池晃氏、元看護師の倉林明子氏が当選し、『国会世直し診療所』が誕生しました。

一方で自民党の圧勝により、社会保障制度改革推進法のもと、「医療、介護、年金」の給付削減、生活保護基準切り下げ、消費税増税など、権利としての社会保障を解体に追い込む法案が矢継ぎ早に出されてくることに懸念されます。

たたかいはこれからです。国民の願いを力に、多くの人々との連帯で、社会保障制度改悪を跳ね返していきましょう！

鳥取県民主医療機関連合会  
事務局次長 渡辺友範

### ◆国益を守らせる国民世論の形成を

参院選の結果は、想定どおりだ。環太平洋連携協定(TPP)が主要な争点にならなかったのが残念だ。日本が初めて参加した選挙後の協定交渉は、中身がなかった。TPPは農畜産品など重要5品目の問題だけではなく、ISD条項や医療、公共事業発注にも関係する。ところが「守るべき国益」さえも明確でない。政府に、守るべき国益を明確にさせ、実際に守らせる国民の世論形成が必要だ。

日米二国間協議にも注目し、どのような国内対策を来年度予算で組ませるか、新たな運動が求められる。

鳥取県畜産農協  
組合長 鎌谷一也

### ◆自民党憲法草案に危機感を持つて

核戦争の危険から女性と子どもの命を守りますと誕生し、創立50周年を迎えた新人にとって今ほどその目的が脅かされているときはありません。

憲法9条を変えて国防軍を創設し、アメリカと一緒に戦える国にし、徴兵制を敷き、拒むものには300年の懲役もしくは死刑を強いるという自民党憲法草案に多くの女性がかつてない危機感を持ち、平和を守る確かな一票はどの党なのか考えに考え抜いて、日本共産党に投じたのだと確信しています。

新日本婦人の会鳥取県本部  
会長 山内淳子

### ◆雇用破壊阻止 希望の持てる社会を

安倍首相は、「日本を世界で一番企業が活動しやすい国」にすると言って、労働分野の規制緩和(雇用の流動化と働くルール改悪)をいっそう進めようとしている。ILOではディーセントワーク(＝働きがいのある人間らしい仕事)の確立が目標とされているのに、これでは企業が総ブラック化してしまう。すべての労働組合が力を合わせて阻止しなければならない。

参議院選挙では、パナソニックグループの事業再編に伴う三洋電機CE(旧鳥取三洋電機)の人減らし合理化反対運動で大変お世話になった山下芳生さんや仁比そうへいさんが当選するなど、共産党は8名(非改選と合わせ11名)へ大躍進した。私たちが労働組合にとって大変心強い国会議員団の誕生だ。これからも、議員のみさんの力も借りながら、雇用破壊を許さず、希望が持てる社会を取り戻すために、運動をいっそう強めていきたい。

鳥取県労働組合総連合  
議長 田中 暁

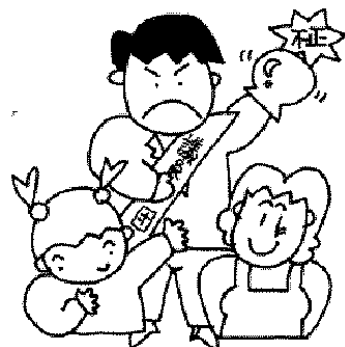
### ◆決意新たに 秋の闘争を

①自公は「虚構の多数」！ 消費税増税でも、原発再稼働でも、国民世論は反対が過半数。なのに自民党は一人区でも29勝2敗とか。やはり、小選挙区制のなせる業。権力者は最後には選挙制度をいじると言われるが、本当にそうなのだろう。

②共産党比例5議席獲得、うれしい哉、うれしい哉！そして、東京・京都・大阪、すごい！ 今後に勇氣と展望を与えてくれました！ 仁比そうへいさんは、『鳥取県児童手当差し押さえ訴訟』でお世話になり、われわれ民商にとっては命の恩人、頼れる国会議員、なくてはならない人。

③いよいよ秋は「消費税闘争」が待っています！ 8月から減額された生活保護費の「集団審査請求運動」と10月からの「年金引き下げ問題」をリンクさせて、一大闘争をしなければと決意しています。

鳥取県民主商工会連合会  
事務局次長 川本善孝



# なくそう！核兵器 非核と9条輝く日本を

— 2013年国民平和進行 —

「核兵器のない世界、憲法9条と非核三原則の輝く日本へ」をスローガンに、「2013年原水爆禁止国民平和進行」(富山～広島コース)が7月9日、兵庫県から鳥取県入りしました。7月20日に鳥根県に引き継ぐまで11日間、県内全市町村を行進しました。



鳥取市河原町内を歩く行進団(左から2人目が竹田さん)

## 原発ゼロ・憲法改悪反対の“金曜日行動”

住みよい米子をつくる会 大谷輝子

13年度の活動について「原発再稼働、憲法改悪、消費税増税、TPP参加など国民の願いを踏みにじって毒矢を射ようとする自民党の暴走を許したら、米子は沈没。本気で情勢にふさわしい活動を」と決意しました。本来国の悪政の防波堤になって市民のくらしと安全を守る責任を負わねばならない市長は、まったく国の言いなりです。「市長選挙を戦わないわけにはいかない」と政策を練り、候補を立ててたたかう

努力を重ねましたが、残念ながら「まちづくりの会」の候補を立てることができず、共産党が佐々木康子さんを立て善戦しました。



「まちづくりの会」の“住みよい米子をつくる政策”実現のため、日常的に運動に取り組みることがいよいよ重要になっていきます。毎週金曜日には、午後6時から“原発ゼロへ金曜日デモ”に取り組み、その前5時から、「戦争はいやです」憲法リーフレットを配り、宣伝しています。「ゼロまで続ける」「続けたい」という参加者の気持ち

梅雨明け猛暑のなかで、850名のみなさんが平和進行に参加しました。88歳の高齢者が元気に半日参加され、3〜4歳の子ども達が1km近く歩きました。「歩くのはできないけれど」と、玄関先で行進団を迎えていただいた方、昼食の接待に参加された方は、前日から美味しく元気の出るものと工夫された元気に進行することができました。

今年の行進の特徴は、各自治体の平和進行への対応です。その一つ目は、行進団が首長・議長・教育長をはじめ、自治体職員330名(昨年224名)の大歓迎を受けたことです。首長・議長・教育長のあいさつは、「非核平和宣言をしっかりと」「原発の安全性が心配」「みなさんの行動に感謝する」等々でした。

「原爆パネル展」が倉吉市(7月26日〜27日)と境港市(8月2日〜4日)で、地元の新日本婦人の会主催で開かれました。8月3日〜9日に広島と長崎で開催される原水爆禁止2013年世界大会へも、鳥取県から代表団が参加します。これらの成果を、①県内全市町村で「原爆パネル展」を開催する、②「核兵器全面禁止アピール」署名の前進につなげる必要があります。署名は7月末現在で1万6100筆です。鳥取県の目標は、2015年NPT再検討会議までに5万筆です。

2013年国民平和進行

今年度の活動について「原発再稼働、憲法改悪、消費税増税、TPP参加など国民の願いを踏みにじって毒矢を射ようとする自民党の暴走を許したら、米子は沈没。本気で情勢にふさわしい活動を」と決意しました。

「原爆パネル展」が倉吉市(7月26日〜27日)と境港市(8月2日〜4日)で、地元の新日本婦人の会主催で開かれました。

「原爆パネル展」が倉吉市(7月26日〜27日)と境港市(8月2日〜4日)で、地元の新日本婦人の会主催で開かれました。

「原爆パネル展」が倉吉市(7月26日〜27日)と境港市(8月2日〜4日)で、地元の新日本婦人の会主催で開かれました。

「原爆パネル展」が倉吉市(7月26日〜27日)と境港市(8月2日〜4日)で、地元の新日本婦人の会主催で開かれました。

## 「革新懇の出番」を確信

代表世話人 村上俊夫

全国革新懇総会が5月18日、東京の主婦会館・ぷらざFで開催され、県革新懇から私が参加しました。全国から200人を超える参加があり、参議院選を目前に控えた緊迫感の中で、熱気あふれる討議が行われました。総会の冒頭、三上代表世話人が「報告と問題提起」を提案。総選挙で復活した自公による安倍政権の暴走と政策破綻が、国民生活に重大なダメージを生じさせ、右傾化路線が内外から強い批判を浴びていること、自民党とその補完勢力と、日本共産党との対決の構図が浮き彫りになってきたと報告されました。また、TPPでも、原発ゼロ、消費税増税、オスプレイ配備でも、反対運動が

このためにも、地域・職場・青年革新懇の網の目を広げる組織づくり、全国革新懇ニュースの拡大による「国民の願いと歴史的要請にこたえる革新懇づくり」が強く訴えられました。最後に、「歴史が激動するとき、困難と希望が複雑

このためにも、地域・職場・青年革新懇の網の目を広げる組織づくり、全国革新懇ニュースの拡大による「国民の願いと歴史的要請にこたえる革新懇づくり」が強く訴えられました。

第50回鳥取県母親大会

9月29日(日) 10:00~12:15 映画「ひまわり」上映  
13:30~16:00 分科会

日吉津小学校体育館(映画) 日吉津中央公民館(分科会)

大人1,000円 小・中・高生800円

お問い合わせは、鳥取県母親大会実行委員会(0857-21-4445)

進、原水爆禁止2013年世界大会の成功に学び、「核兵器のない平和で公正な世界」の実現のために、二つの取り組みをすすめます。原水爆禁止鳥取県協議会 事務局長 太田忠誠